特集

JR東北線が全線復旧　貨物の仙台―盛岡も再開

全線で運転を再開したJR東北線。岩切駅にも通勤風景が久しぶりに戻った＝21日午前8時40分ごろ

東日本大震災と余震で運転を見合わせていたJR東北線は21日、仙台―一ノ関間と岩切―利府間が再開し、全線が復旧した。仙台駅に乗り入れる在来線の全線再開は震災後初。沿線の各駅は朝から通勤、通学客らで混雑した。

ほぼ通常ダイヤで再開したが、復旧直後のため徐行運転を終日の予定で実施。JR東日本仙台支社によると、午前11時現在で上下線とも通常ダイヤより最大で約40分遅れ、計6本が運休した。

利用客は身近な足の復活を歓迎した。岩切駅（仙台市宮城野区）から乗り込んだ同区の高校2年菊池成津美さん（16）は「きょうから新学期。再開はうれしい」と笑顔を見せた。

東北線は震災後、安積永盛―松島間まで運転区間を広げたが、7日深夜の余震で再び運休。仙台まで通勤する宮城県利府町の会社員東條舞さん（37）は「2度目の運休はがっかりした。バス通勤は時間がかかり、再開は助かる。日常がだいぶ戻ってきた」と喜んだ。

ほぼ同じ線路を使う貨物列車も21日、仙台貨物ターミナル―盛岡貨物ターミナル間が復旧。関東から北海道まで結ばれ、日本海側を迂回（うかい）していた貨物の輸送時間が大幅に短縮された。

仙台圏では23日、仙山線が愛子―山寺間の運転を再開し、全線復旧する予定。

2011年04月21日木曜日

Copyright © The Kahoku Shimpo